

細谷祐二

Hosoya Yui

地域の力を

引き出す企業

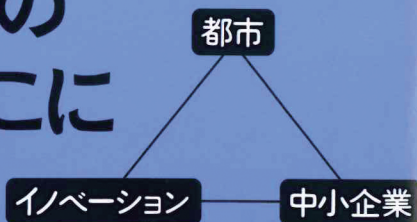
グローバル・ニッチトップ企業が示す未来



CHIKUMA SHINSHO

……特定の分野で極めて高い競争力を持ち、国際市場で高いシェアを維持している、ものづくり企業をグローバル・ニッチトップ企業 (GNT企業) と呼び、注目してきた。大企業が参入しないニッチな分野で、世界のトップに君臨する企業と考えていただいてもよい。GNT企業は密度の濃淡はあるが、日本全国に分布している……

日本復活の
ヒントはここに
ある!



経済産業省は、GNT企業100を選出

筑摩書房 定価(本体価格880円+税)



ちくま新書

シャープを買収した台湾企業の鴻海精密工業は、米国アップル社のiPhoneやiPadの金属製のケースを画期的な方法で加工することで、大きく業績を伸ばした。成形などの方法で薄板から箱形のケースを作ろうとすると、いくつもの工程が必要で時間とコストがかかる。ホンハは中国本土に作った大きな工場に高価なマシンングセンタを大量に並べて、厚みのあるアルミ板から切削加工の一種である削り出しという方法で、二四時間休みなくケースを生産することで、コストを格段に引き下げることになった。

なお、マシンングセンタの刃の位置を指定する、位置決めスイッチという加工上の要の部分^{かなが}は、日本企業が製造している。メトロール（東京都立川市）である。質感、手ざわり、デザインなど品質にこだわるステイプ・ジョブズが率いたアップル社は、自社の製品の加工に使う位置決めスイッチはメトロール社製のものを使うように仕様書で指示している。もちろん、メトロールは日本を代表するGNT企業だ。

接合、bondingの代表は溶接である。異なる金属片の接合部に熱を加えて金属を溶かし、冷えて金属が固まることで金属同士を接合する方法である。スポット溶接といって、電気抵抗の熱により溶かす方法や、レーザー光を使って溶接する方法がある。日本の自動車メーカーはスポット溶接ロボットを駆使して、車体の主要な部分を「点」で溶接している。フォルクスワーゲンやアウディというドイツメーカーは、レーザー溶接機を使って、金属と金属の接合部を